

## 野外の開催に漕ぎつけた第九 宇都宮第九合唱団 広報 齋藤 真弓

12月26日(土)午後2時より、栃木県宇都宮市の中心街にあるオリオンスクエアにて、宇都宮第九合唱団主催による野外第九演奏会を開催いたしました。



### 【出演者】

指揮：佐藤和男

ソリスト：ソプラノ/小高史子 メゾソプラノ/城守香

テノール/高田正人 バリトン/寺田功治

管弦楽：宇都宮野外第九オーケストラ(有志の皆様)

合唱：宇都宮第九合唱団

今の時代だからこそ、ベートーヴェンが伝えたかった第九のメッセージを、日本初演の第九のように、心を込めて今できる精一杯の演奏会を皆さんに送ろうというプロジェクトです。

### 宇都宮第九合唱団とは

1980年5月27日、宇都宮市文化会館の開館を機に設立され、「第九を歌いたい」という意思のもとに集まった市民らで構成される自主運営の合唱団です。前期には第九以外の合唱曲でチャリティーコンサートなどを開催し、後期には第九演奏会を開催しております。団員は演奏会の度に募集して、演奏会終了と同時に解散しており、多い時で320人の団員が在籍した年もありました。

第九演奏会では指揮者・ソリスト・オーケストラの全てにプロを迎えており、本来であればベートーヴェン生誕250周年の記念すべき昨年、40周年目の演奏会(日本フィルハーモニー交響楽団、指揮者・下野竜也さん)を開催する予定でした。

### 練習ができない…

新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、飛沫感染が感染リスクを高めるなど取り沙汰されるようになると、合唱はクラ

スター発生率の高いものと言われるようになり、当団でも昨年前期の練習を中止しました。

少しずつ落ち着いてきた初夏、スタッフで後期の演奏会活動の見通しを話し合いましたが、大半のスタッフが演奏会どころか練習にも参加したくてもできないという考えでした。当団では団員がボランティアでスタッフを兼務して運営しており、個々の職場や家庭環境からそう判断せざるを得ない状況でした。

### 指導者会議にて

その後指導者の先生方と幹部スタッフとの打ち合わせの場で、合唱指揮をされている佐藤和男先生が「屋内がダメなら野外でやろうよ、練習に参加出来ないならゲネと本番だけ、オケが揃わないならゲネで合わせてみて、他の楽器で埋め合わせればいいじゃん、徳島の捕虜収容所で行われた第九ってきつとこんな感じだったんだよ」と仰ってくださいました。それが真夏の暑い夜のこと。

その半年後に、気温9℃の宇都宮の寒空の下で演奏会が開催されることになりました。

### メンバーを集めよう

当団は歴史もあり、継続団員も多いので練習なしでも合唱団員は集められます。でもオケはどうしようか?となりました。クオリティ度外視の演奏会に協力してくれるオケは、プロどころかアマチュアでも難しいです。そこで以前に共演のお話をいただいていた宇都宮シンフォニーオーケストラの団長とインペグ※に相談し、有志を集めてほしいと依頼しました。

そうしたところ、人から人へと口伝いで人が集まり、また当団のHPでも募集したところ、オケの体制が成り立つまで十分な人数が集まりました。その中にはプロの方も大勢いました。

(※インペグ：音楽家の手配を行う専門のマネージメントを行う会社や事務所を「インペグ屋さん」と呼ぶ。)

### その他の協力の皆様

スポンサーになってくださった企業、募金箱を置いてくれた店舗、寄付金をくださった法人、個人のみならず、物品の差し入れや当日の会場の整備をしてくれたボランティアの皆様など多くの方々のご協力をいただきました。またソリストも地元出身の皆様により、快くご賛同頂いております。

### 感染対策として

野外で行うのはもちろん、演者間の距離はガイドラインに沿って設定。合唱団はその上でKAWAIの合唱マスクを着用。ソリストと観客席との間は、5メートル以上開けてい

ます。

感染リスクを最小限にするため、オケは2週間ほど前に1度きりのリハ、合唱団はゲネと本番のみです。

ソリスト、指揮者、オケの方々には近くの公民館を借り切り、音出し用の控室としましたが、合唱団は控室無しでした。



観客席数は最小限とし、当日の支払いがないようネット決済を導入。また参加者全員に健康問診カードの記入や测温、手指消毒を念入りに行いました。

また会場外からの見物客対策として、ガードマンを配置して、密にならないよう人の流れを誘導しておりました。

そして「**お家で第九を聴きましょう**」と、ライブ配信を決め、早くから情宣致しました。

### 開催してみても

ここまででしてどうしてやるのか？と何度言われたことでしょう。やれないかもと思ったことも一度や二度ではありませんでした。

でも気持ちを同じくした者たちによる演奏は、これまでにない感動がありました。

このご時世だからこそ心を打つものがあったのだと思います。

#### 【編集部より】

宇都宮第九合唱団は、「今できることを心をこめて～第九、日本初演のようなもの」との意気込みで第九の野外演奏会を開催しました。この企画は、実際の演奏とリモートで歌ったものを合体させて動画にするというユニークな試みです。（詳細は『おんがく広場』第109号をご覧ください）

同団では現在、個人で撮影する「リモート動画」および「リモート動画撮影会(1月17日)」の参加申し込みを受け付けています。 ↗



撮影会参加は1月10日、ご自身撮影での参加は1月17日がそれぞれ申し込み締め切りです。詳しくは下記公式サイトをご覧ください。

<https://www.utsunomiyabet9.com/>

## 全日本合唱連盟ガイドラインを考える セミナー動画を一般公開

昨年12月26日、(株)コーラス・カンパニーが無料で開催したオンラインセミナー『徹底解説！全日本合唱連盟の「ガイドライン」が示す第3波における合唱活動』の動画が、一般に公開されました。

このセミナーは、全日本合唱連盟が改訂した「**合唱活動における新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドライン第2版**」について公式な立場で解説し、最後に質疑応答が行われました。

—————【パネリスト】—————

**加藤英明氏**：ガイドライン監修・横浜市立大学附属病院感染制御部部長

**戸ノ下達也氏**：ガイドライン作成委員会・全日本合唱連盟監事

**三好草平氏**：ガイドライン作成委員会・東京都合唱連盟事務局長

—————【聞き手】—————

**坂元勇仁氏**：レコーディング・ディレクター、大阪芸術大学客員教授

セミナー動画は、視聴者限定で閲覧可能とされていましたが、その後一般公開となりました。下記サイトでご覧いただけます。

<https://youtu.be/zOHjMUNXBdk>

ガイドライン第2版に追加された**公演のための留意点**については、近く発行される機関誌<ハーモニー>誌で解説することです。

